



透かし情報タグによる製品のブランド化

高精細多積層転写技術を用いた透かし情報タグ

技術分野分類 1202：知覚情報処理

技術キーワード (1)パターン認識、(2)画像情報処理

産業分類 E-21：窯業・土石製品製造業

内 容	概 要	陶磁器製品のデザインに影響を与えない特殊な顔料を用いて、情報タグを製品に印刷することで、模倣品を排除することを目的とした転写技術を開発しました。この見えない情報タグは、ブラックライトを照射すると発光して浮かび上がり、スマートデバイスにて読み取ることが出来ます。
	従来技術・ 競合技術 との比較 (優位性)	従来の陶磁器製品は自社ブランドの証明に裏印を用いていましたが、簡単に模倣することができてしまう欠点がありました。また、通常の顔料で商品情報などを製品に印刷すると、製品の意匠を阻害する欠点がありました。 本研究では見えない情報タグを印刷とすることで、製品の意匠を損なわずに商品情報を付与し、企業のブランドを保護することができる技術を開発しました。これにより、消費者への品質保証も可能となりました。
	本技術の 有用性	通常使用では見えない情報タグを印刷していることので、粗悪な偽物が発生した場合に真贋判定として利用することが可能です。また、情報タグに製造工程などの情報を入れることで、クレーム発生時に原因追及が可能となります。
関連情報 (図・表・写真等)		
適用可能製品		陶磁器製品、珪瑯製品など (プラスチック製品についても一部材料を除き対応可能)
技術 シース 所有者	氏名 所属・役職	安達直己 岐阜県セラミックス研究所 専門研究員
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	岐阜県セラミックス研究所 技術支援部 0572-22-5381/0572-25-1162 info@ceram.rd.pref.gifu.jp

■知的財産

・本関連技術について特許出願中

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2020 年 7 月 22 日